

図書館だより 2月号

令和7年2月12日発行 川島中学校・高等学校図書館

第11回 全国高等学校ビブリオバトル決勝大会 ゲスト特別賞受賞！

1月26日に東京で開催された、第11回全国高等学校ビブリオバトル決勝大会に、51HR 加藤千洋さんが徳島県代表として出場し、ゲスト特別賞を受賞しました。決勝大会では、各都道府県代表49人が自分の“推し本”を紹介、約450人の聴衆が一番読んでみたいと思った本に投票し、チャンプ本が決定しました。加藤さんは、ゲスト（汐見夏衛さん、新庄耕さん）が選ぶゲスト特別賞を受賞！大会の感想、推し本への思いを加藤さんにお聞きしました。

私は、1月26日に東京で開催された、全国高等学校ビブリオバトル決勝大会に、徳島県代表として出場しました。ビブリオバトルは、参加者がおすすめの本を紹介しあい、最も読みたいと思った本を、投票で決める大会です。そのため、プレゼンの上手な人、話すのが得意な人が有利だと思われがちです。ですが、私は話すことが大の苦手です。大勢の人の前で発表するのはもちろん、教室で先生にあてられて答える時ですら、緊張して、口ごもってしまう時があります。

そんな私ですが、中学生の時に、ある一冊の本に出会いました。それが、今回、私が大会で紹介した「僕は上手にしゃべれない」です。吃音という発話障害を抱える主人公が、しゃべるのが本業の放送部に入り、成長していく物語です。痛みや苦しみを抱えながらも懸命に前を向いて進んでいこうとする主人公の姿に勇気をもらい、辛い時は何度も開いて励まされている、私にとって本当に大切な一冊です。しかし、私の周りでこの本を知っている人は誰もいなくて、「一人でも多くの人にこの本の魅力を伝えたい。そして、吃音者が抱えている苦しみを知ってほしい」という思いから、私は大会に出場することを決意しました。

最初は本当に不安で、失敗したらどうしようとネガティブな考えばかりにとらわれていました。ですが、全国大会で発表した後、出場者や先生、関係者の方など、たくさんの人に「よかったです」「自分も話すことが苦手なので共感しました」と言ってくれて、たくさんの人に伝えることができたんだと本当に幸せな気持ちになりました。

会場には出場者の紹介した本が売られているブースがあり、本を買ったと言ってくれた方もいて、自分の発表でこの本の存在を知り、読んでくれる人がいるんだと知って、心の底からうれしかったです。本当に素敵な物語なので、みなさんもぜひ、読んでいただけると嬉しいです。



ラストで君は「まさか！」と言う

3分間ノンストップショートストーリー

PHP研究所/編集発行

最後の結末で、そういうことかとなって、とてもすっきりします。どんな結末になるのか考えたり、読んだ後にもう一度同じ物語を読むと、見る視点が変わってとてもおもしろいです。ひとつひとつの物語も短く読みやすくておすすめです。

44HR 山田



3分間で一気に読める！
久米先輩に御寄贈いただき、
たくさんそろっています！

加藤さんの推し本はこちら



僕は上手にしゃべれない

椎野直弥/著 ポプラ社

吃音の悩みをかかえ、中学に入学した悠太。入学式の日自己紹介が嫌で仮病を使って逃げ出した帰りに、放送部勧誘のチラシをもらい、自分を変えたいと入部します。

作者自身の経験をもとに、苦しむ少年の葛藤と周りの人の思い、前に進もうとする希望を描いた感動の物語です。ぜひ、読んでみてください。

借りている本の返却期限は守れていますか？

特に、6年生は忘れないようにしてください。

3年生も、高校生になる前に、いったん返却してくださいね。

よろしくお願いします！

お願い

1月HR別貸出冊数について

本の貸出が多かったのは、

11HR 153冊

12HR 89冊

42HR 31冊 でした。

1年生は授業での利用があり、本の貸出がとても多くなりました！

6年生は、2月は自宅研修期間ですが、登校日にはぜひ図書館に来てください！

閉館日のお知らせ

2月17日、20日、27日は
終日閉館します。

本の返却は、図書館の入り口
前に返却BOXを用意します
ので、その中に入れてください。
よろしくお願いします！

